広報なばり
市の情報ひとまとめ
8－4号 No.874
毎月4回発行(日曜日)
2010年(平成22年) 8月22日回発行
発行／名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1
☎0595-63-7402 FAX 64-2560 ✉info@city.nabari.mie.jp
HP http://www.city.nabari.lg.jp
携帯版HP http://www.city.nabari.lg.jp/m_index.htm
バーコード読み取り対応の携帯電話端末から携帯版HPへ →

主な内容 P3－6…ふるさとい～な P7…ひまわり P7－8…「市長への手紙」様式 P8…「防災ほっとメール」9月1日から受付開始

新しい消防庁舎の防災力

8／30～9／5 防災週間

6月に始動した新消防庁舎。皆さんにご利用いただく防災体験学習コーナーが注目されがちですが、わたしたちが安心して暮らしていくために、新しい消防庁舎が防災拠点施設としてどんな役割を果たしていくのか―。今号では、その防災力をご紹介します。

問 市消防本部 ☎63-1411 危機管理室 ☎63-7271

ローカルヒーロー
119団アンシンダー

1. 震度7の地震に耐える

新消防庁舎は、消防本部と名張消防署、防災センターが入る市の防災拠点です。震度7の地震にも耐えられるよう設計されています。

なお、旧消防庁舎は、東海地震、東南海地震、南海地震が連動して発生した場合の予想震度5強の地震で倒壊の危険がある建物でした。

2. 市役所に隣接し、消防本部と行政の各部署との連携強化

市役所と隣接し、消防本部と行政の各部署との連携が迅速かつ的確に行えます。大規模災害発生時には、災害対策本部を約350㎡もの広さがある防災研修室に設置し、災害対応の拠点として活用します。

3. 迅速な出動

119番の受信から火災、救急、救助などの出動指令までの操作を、迅速かつ的確に対応できる通信指令装置を導入しました。また、消防車庫が広くなったことで、従来、朝日町へ単独で格納していたはしご車を格納できるようになるなど、各車両が迅速に出動できるようになりました。

4. 充実した訓練の実施

高さ約19m（地上5階）の訓練塔を整備。想定消火訓練やロープブリッジ渡過訓練などの救助訓練が実施できます。

現場に近い想定での訓練が可能に。さらなる技術向上を！

「大規模地震が起こり、消防庁舎が倒壊すれば…」。不安の声が市民の皆さんから寄せられていました。これが現実となれば、わたしたちにとっても、満足な救命救助ができないという非常に悔しい結果につながりかねませんでした。まさに新消防庁舎は待望の施設であり、消防職員一同、「市民の生命、身体、財産を守りたい」という意気込みを強くしているところです。

また、旧消防庁舎では、訓練する場所が限られており、放水訓練を名張川で行わなければならなかったり、防火衣を着用する場所も狭く、迅速な出動に支障をきたしたりしていました。今回整備された訓練塔では、マンション、高層ビル、瓦屋根、スレート屋根といった各種建物を想定した救助訓練や、建物内での放水訓練など、実際の現場にできるだけ近い想定の下、訓練を実施できます。隊員同士、消防車同士の連携を図ったり、先輩から後輩へと技術を引き継いでいったりすることも容易になりました。

今後も、実際の火災や救助に迅速かつ的確に対応できるよう、訓練に訓練を重ね、さらなる技術向上を目指し続けます。

名張消防署 消防司令補 森上芳彦

9月の伊賀地域救急輪番表は、詳細が決定次第、市ホームページへ掲載するほか、新聞折込などでチラシを配布します。 問 健康福祉政策室 ☎63・7579

9月の納税（納期限…9月30日㈭） 国保税（3期）

納税は便利な口座振替で 問 収納室 ☎63・7439